

## 25 スマート農業の推進について

本市の農業は、就業人口が減少するとともに高齢化等により、一段と担い手不足が進行しております。このような中、AIやICT、ロボット技術など先端テクノロジーを農作業に利用するスマート農業は、近年、著しく開発され、多くの事例がみられるようになっております。

このことから、本市では、エゴマ栽培において、新たに自動運転トラクターやドローン等のスマート農業を導入し普及促進を図ることで、省力化・効率化による生産拡大を推進するとともに、若者や企業の農業参入など新たな担い手の確保に努めてまいりたいと考えております。

つきましては、**スマート農業の実証や今後の普及展開**に向けた支援について格段の配慮をお願いします。

- 1 スマート農業の導入（大規模農地、中山間農地、ハウス）
  - ・自動運転トラクター
  - ・GPSガイダンスシステム
  - ・自走式草刈機
  - ・ドローン
  - ・風向風速計や土壌分析センサーによるリモートセンシング
- 2 富山市センサーネットワーク（富山市域人口カバー率98.9%）を活用した多様なデータの可視化（風向、風速、土壌水分量、気温等）
- 3 エゴマ栽培に影響を及ぼす株間雑草対策である株間除草ロボットの改良
- 4 市民への普及・啓発に関するセミナーの開催